

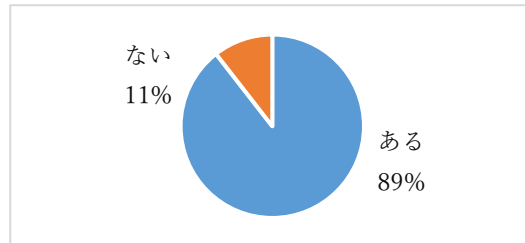
令和5年度「ケアマネジメントで行う地域の支援者との関わり」

アンケート集計結果（回答数 76名）

① ケアマネジメントにおいて、『地域の支援者』を「利用者を中心とした支援チームの一員」として関わりを持ったことがありますか？

回答

ある：68名 ない：8名



② ないと答えたCMに聞きます。

その理由について、最も該当するもの一つに○をしてください。

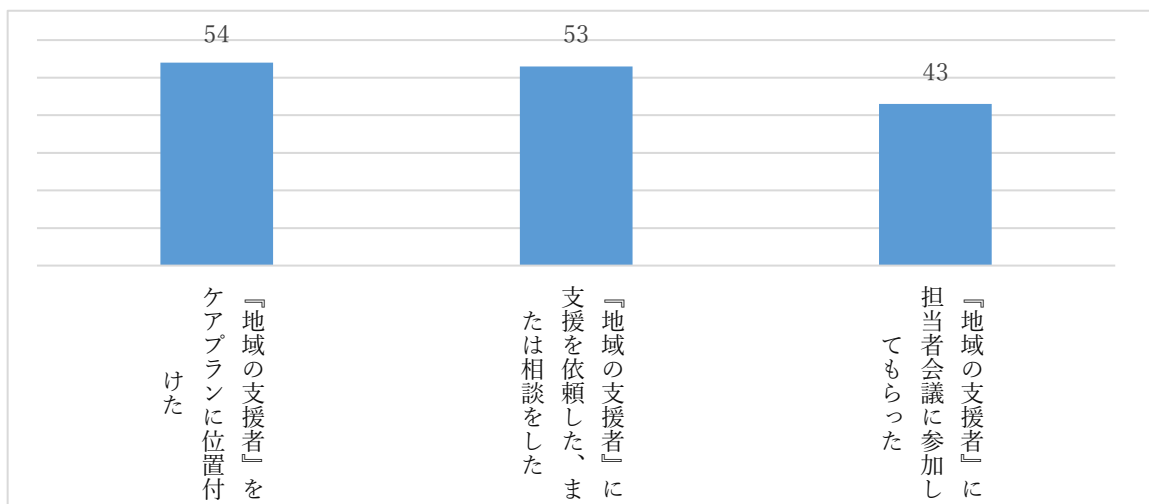
回答

- (ア) 必要と思ったことが無い。 . . . 0名
- (イ) 地域の支援者を知らない。 . . . 0名
- (ウ) どのように地域の支援者と関わってよいかわからない。 . . . 2名
- (エ) 地域の支援者とつながるのは大変だから。 . . . 0名
- (オ) 必要と思うが、やったことが無い。 . . . 4名
- (カ) その他 . . . 2名

- ・まだ日が浅いため担当ケースでそのような関わりはないが、全地域の支援者と関わっていきたい
- ・利用者を中心とした支援チームの一員としてカウントできない方が多いため

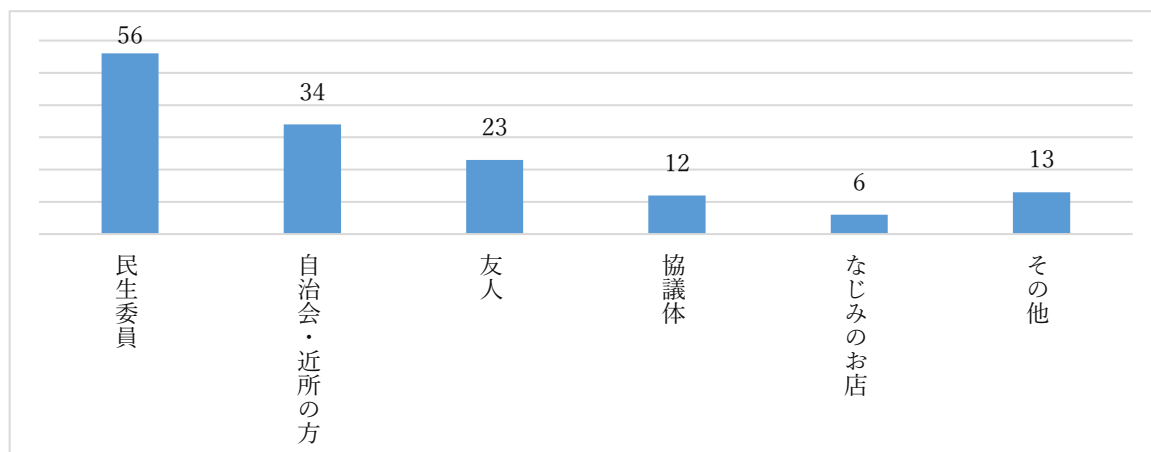
③ あると答えたCMにお聞きします。該当するもの。複数回答有

回答



④ ケアマネジメントで関わった『地域の支援者』とは誰ですか？ 複数回答有

回答

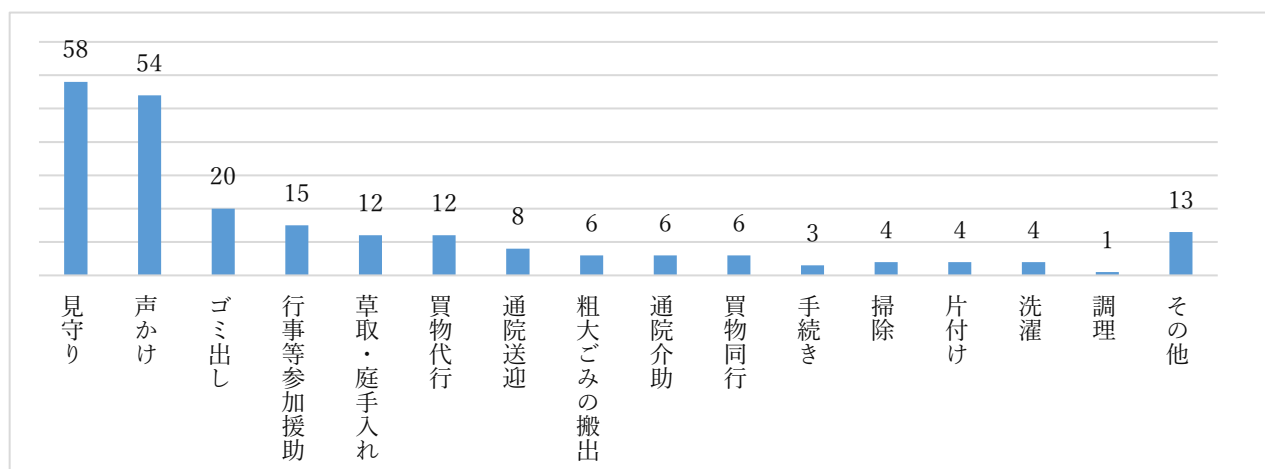


その他

- ・CSW ・認知症家族の会 ・ボランティア ・有償ボランティア ・近くの親戚
- ・民間看取り士 ・サロン主催者 ・サロン関係者 ・FSS ・移動販売の方
- ・銀行、タクシー会社 ・駐在さん ・保健師

⑤ 『地域の支援者』が利用者に対して支援をした内容は何ですか。複数回答有

回答

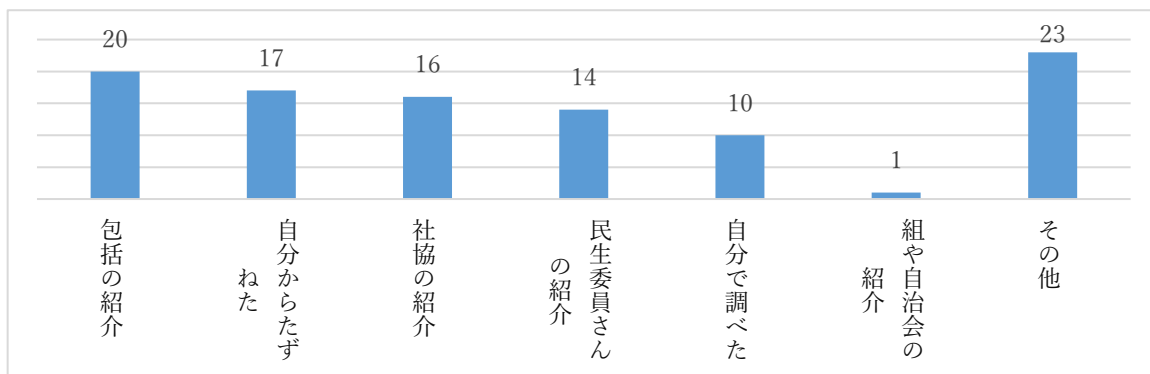


その他

- ・相談相手 ・認知症家族の会会長訪問 ・食事セット、薬の声かけや確認 ・ボラに修理
- ・外出先への共有 ・ふれあいペンダント ・話し相手 ・サロンへの参加や促し、サロン送迎
- ・郵便物の管理、県外家族と連携 ・相談支援
- ・終末期を自宅で過ごす家族への心情面へのフォロー

⑥ 『地域の支援者』と関わることが出来たきっかけは何ですか？ 複数回答有

回答



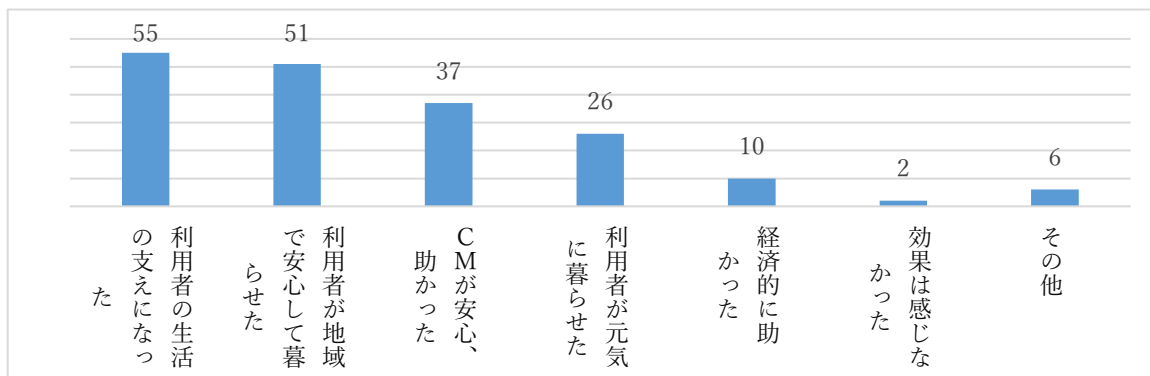
その他

- ・本人から
- ・家族から
- ・もともとの縁つながり
- ・利用前から関りがあった
- ・近所付き合いの中で
- ・親族から
- ・オレンジカフェ
- ・協議体
- ・ヘルパーから
- ・保健師から

⑦ このことでのケアマネジメントの効果を教えてください

(CMの主観で良いです) 複数回答有

回答



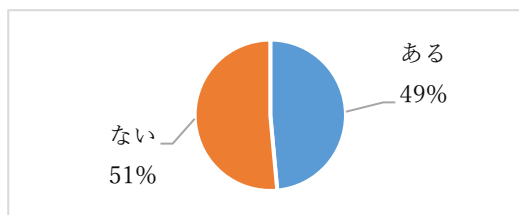
その他

- ・変化があると新しい情報を得られた
- ・家族の不安の解消。利用者と最後まで家族が過ごせたことの家族の満足感
- ・離れて暮らしている家族の安心と、家族と近所の方のつながりになった
- ・本人の友人と本人の家族との関係性
- ・認知症独居の方が一人で生活を継続することができてる
- ・家族の負担軽減

⑧『地域の支援者』との関わりの中で、難しい又は困ったなと感じたことがありますか？

回答

ある：33名 ない：35名



※ある場合、難しい又は困った内容を記入してください。

回答

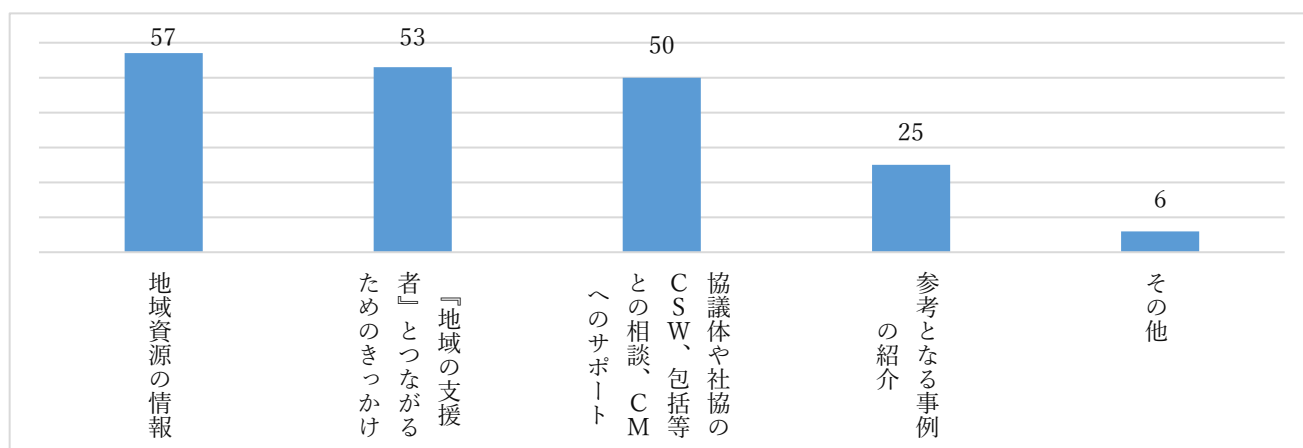
- ・関わってくれることが負担に感じてしまわないか心配だった
- ・情報共有とチームワーク、連絡調整とまとめ役を CM がしっかりしないと「聞いてなかった、教えてくれなかった」となってしまった
- ・地域の支援者の思いが強く、本人の意志や意向の確認をせず、支援することが優先になってしまった。地域支援者、本人のやりとりはケアマネひとりでは難しい
- ・どこまでを頼めるか線引きの難しさがあつた
- ・民生委員さんとなかなかコンタクトが取れないことがあつた
- ・認知症状の理解
- ・民生委員に介護に対する温度差がある
- ・地域の支援者も善意で支援して下さっているが、本人の能力を奪う関りや、家族支援以上に支援してしまい、家族が手を引いてしまったりする
- ・本人からの依存度が高くなり、支援者の生活を圧迫する
- ・友人とご家族の気持ちのズレ
- ・地域の特性、関係性に格差がある
- ・個人情報の取り扱い（複数あり）
- ・本人が望まない
- ・隣近所、皆高齢者が多く、利用者と関りが持ちにくい事。身体的にも移動が難しい
- ・本人の自立を阻みそうになった。曖昧な情報に本人や家族が振り回された
- ・本人の自立の阻害因子であった場合
- ・支援者への精神的負担をどこまで頼んだらよいのか？
- ・本人の拒否
- ・地域の方に責任が発生しない、負担の少ない依頼でお願いする内容について考えた
- ・地域の支援者がケアマネの業務を理解していない。なんでも屋さんと思っている
- ・本人の状況、個人情報をどこまで伝えて良いものか、協力をどの程度任せたり、お願いしてもよいものか
- ・過度な支援もあり、また支援報告に家族がプレッシャーを感じたことがある
- ・一時的なら負担なく受け入れてくれるが、長期になると地域の支援者の継続が難しく、支援が途切れる
- ・利用者本人が地域の方に相談してほしくない、とおっしゃる方がいます
- ・もともと関りのある方は、スムーズにお願いできたが、関りのない人は頼みづらかったり、本人も受け入れづらい
- ・一人暮らしの方の見守りや安否確認などお願いする際に、都会に住む家族が地域の方の関りに抵抗があつた

- ・本人、家族が近所に知られたくないと思っている場合
- ・高齢者自身が民生委員さんを知らないことも多く、連絡してほしくないといわれることもあります
- ・ゴミ出しなど、曜日回数が決まっている時は依頼しやすいが、徘徊している時の見守り、声掛けの場合は、支援者も介入しにくいと話があった

⑨ CMが『地域の支援者』を社会資源として有効に結び付けていくには、何があるとよいですか？

複数回答有

回答

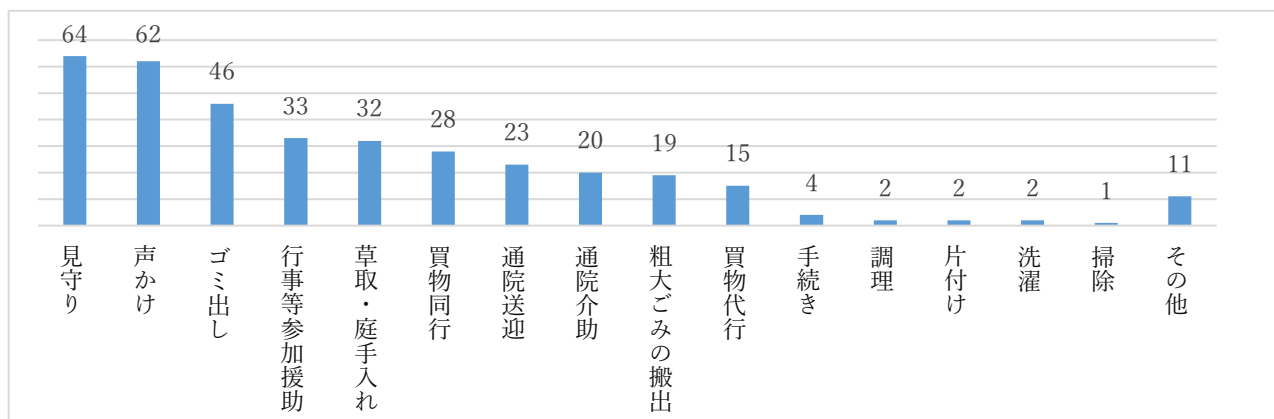


その他

- ・協議体により支援できる内容や層の厚さに違いがあるため、一方でマンパワーがあるが、利用する方が少ないなど、地域を越えての支援もできればいいと思う
- ・地域の支援者の方にもCMの立ち位置を理解して頂けるような取り組み
- ・協議体等と普段から関わりを持っておくことが必要
- ・担当している地区の方との交流の場
- ・地域の高齢者と支援者（民生委員）が、日常的に顔見知りになること
- ・地域の「福祉力」の底上げ。元々地域は福祉的ではないと思います

⑩ 『地域の支援者』にお願いしたいこと。 複数回答有

回答



その他

- ケースの地域の様子で、ケースごとにできることを探れるとよいと思う
- 市外へ通院する場合（抗がん剤など）交通費がかかる。支援がもう少し手厚くできないかと感じる
- 話し相手、外出、一緒に食事
- 無料であればすべて。料金にて異なると思う
- ケースバイケースだが、本人との関係が良好な方がいれば、困りごとに対応してくれる人がいればいい
- 天災や万が一の火災等、余裕があったら様子を見て頂きたい
- 家庭菜園を一緒に行く
- 何かの時、ご家族へ連絡
- 必要に思えた事があったら、都度確認したいと思います
- 買い物に行く際に、「必要な物があればついでに買ってくるよ」の声かけや、「一緒に行く？」のお誘いがあると有難いです。
- 利用者が持っている技術を生かせる場があると良い

⑩『地域の支援者』とつながって良かった事例について、概要を教えてください。

回答

- 定期的に訪問をしてくれ、利用者の話を聞いてくれた。利用者自身が、「話せる人」として心を開いてくれた
- 独居：視力障害のある利用者。洗濯機の操作をお願いした（民生委員）
- 障害のある妻と二人暮らしの認知症の利用者。一緒に草取り、ゴミ出しをボランティアと組長さんをお願いした。妻には通院介助と買い物の付き添いをボランティアさんをお願いし、民生委員さんに月に一度の訪問をお願いした
- 日頃から支援者と繋がっていたので、大雪でサービスを休止した時、支援をお願いできた
- ケースの普段の様子を地域の方から、情報を得ることができた。生活歴を教えてもらうことで、支援の検討のヒントになった
- 認知症の一人暮らしの方。サービスの介入、地域の方との協力があり、県外のご家族も安心して自宅での生活が送れている
- 障害者の息子様。ご本人は認知症があり、疾患もあり、介護保険サービスだけでは買い物や急な受診、見守り、食事セットなど足りない部分が多く、補ってもらえた。送迎は本当に助かりました。
- 認知症、独居の方。一人で出かけてしまった時、民生委員さんが保護してくれた
- 本人が安心して自宅で生活できた
- 独居：親しい方をプランの中に位置づけ、見守り、声掛け依頼。担当者会議にもきてもらう
- 独居：民生委員に担当者会議に来てもらう。独居にてサービスを使うようになった事を理解してもらい、おやつサービスを開始
- タクシーで出かけ帰れなくなる方の情報共有する事で、本人の好きな時に好きな場所へ外出する事が出来ている
- 独居：庭の木が伸び、家が日陰になっていた。地域の方が本人と一緒に、木の手入れをしてくれた。
- 独居：下肢能力低い高齢者。ヘルパーがまとめた日常生活のごみ（含むリハビリパンツ）を、ごみ収集日の朝、隣人が自分の家のごみとともに集積所に持っていってくれる

- 軽度認知独居の方：ゴミが増え、昼夜乱れていたが、地域の支援者の介入（声かけ）で、自然と生活が整ってきた
- 独居の利用者。今まで民生委員に買い物支援をしてもらっていたが、民生委員の任期満了に伴い、民生委員をやめることになった。しかし、その民生委員はその後本人に関わり、買い物を支援を継続してくれている。
- 息子と二人暮らしの高齢者。認知面低下しつつある。先日昼夜逆転し、外に夕方、本人が出ていた所に声をかけ、帰宅を促し事なきを得た
- 独居：本人が家で倒れていて、野菜を届けて発見。救急搬送につながった。
- 夫を看取り独居になって淋しさが募り意欲低下していた利用者。近所の方へお願いして、友人、知人らと一緒にご飯を食べに来ていただけたら、買い物へ連れ出して下さった。話相手にもなって下さった。
- 近所との関係性がよく、利用者さん宅でお茶会をされていた事もあった
- グラウンドゴルフやサロンへ一緒に参加できるよう、参加促しや送迎をしてくれた
- 独居：もともと隣人が気にかけてくれていたため、声かけや朝のカーテンの確認などお願いした
- 独居：認知症。隣人が自宅用ついでに本人の買い物をしようかと申し出てくれた。本人、家族の同意あり、依頼
- 移動販売で通常取り扱っていない買い物に困っていたが、相談すると快く対応してくれ、必要時に持ってきてくれた
- 高齢者 2 人認知症：近くに息子さん夫婦がいる。本人が家の周りを歩き回る。近場の人の声かけや家に戻るよう話してくれる
- コロナワクチン接種に毎回誘って下さる。
- 徘徊された方のご家族に電話連絡して下さった
- 独居の方の墓参りを同じ墓地という事で一緒に車で行って下さる
- 家族の対応が出来ない入れ歯の不具合等の歯科受診や美容室には定期的に同行してくれる（民生委員）
- 毎週地域のサロン開催時には、薬の飲み忘れの確認も行ってくれることになった
- 話し相手として、独居の利用者さんの自宅に訪れてもらった
- 毎日、カーテンを開ける習慣のある方だったので、カーテンが開いていないときに様子を見に行ってくれた
- 独居の方の自宅を訪問し、時々声掛けや見守りをしてもらった。山間地で孤立しがちな環境なので助かった
- 独居：百歳体操の声掛け、送迎
- 認知症の高齢者世帯：安否確認を兼ねヘルパーがまとめたゴミ出しを依頼した。当日しか出せない地域のため助かっている。おやつ、見守りサービス利用
- 独居、歩行器使用：隣の方が見守りしてくれている。状況に応じて連絡。場合により庭の草刈り。保佐人よりボランティア依頼もあり
- 独居で家族とも折り合いが悪く、支援者がいなかったが、民生委員や近所の方が見守りや声掛けをしてくれ、こちらとしても安心につながった
- 近隣の方や民生委員の見守りにより、本人の変化に早期に気づくことができた
- 徘徊のある利用者様の見守りをお願いしたことで、自宅に連れ帰っていただいた。コンビニで行動に変化があった際、情報をいただけた

- 雪かきをして下さった
- 認知症のある利用者：趣味や地域活動日を忘れてしまうため、当日の声掛けや誘いなどで参加が継続できた
- 独居：協議体の働きかけで2階からベッドを1階に降ろしてもらった。タンスの処理（粗大ごみ）を手伝っていただいた
- 認知症の方：百歳体操やサロンへ忘れずに参加できた。日頃の様子、散歩コースなど行動の見守りをしてもらえた
- 高齢者夫婦：ごみ捨て遠いため、近所の方が週2回支援してくれている
- 夫の入院をきっかけに不穏な状況あり。毎日訪問声掛けなど見守りをしてくれてる
- 独居：認知症の方。家族に了解のもと、家の鍵を隣家に預けて見守り依頼。朝、雨戸が開いていないことで心配され、確認して頂いたところ、転倒されていたため、救急搬送の連絡をしてもらった
- 独居利用者さんの状況（困りごと）をCMや県外家族に連絡し、解決につながった
- 認知症カフェに参加したいのに、移動手段なく、包括を通じて認知症家族の会に相談。家族の会会長さんが、当該利用者さんにご家族のご自宅に訪問くださり、相談援助されている
- 余命わずかな母を家で看取ると決意したFaへのサポート。看取り士の知り合いを紹介したことがきっかけ
- ヘルパーから、近所の方がゴミ出しをしてくれる声掛けをしてくれたと、情報をいただいた
- 独居：支2から更新時支1へ。通所週2回が1回となった事での不満を繰り返し訴えた。民生委員が地区サロン運営にも関わっていたため、誘い出してもらい、毎月サロン参加し、その後、百歳体操へも参加するようになり、不満が少し解消された
- 独居：認知症の利用者に対して見守り体制ができ、独居が続けられた
- 独居：歯が抜けてブリッジがかからなくなり、食欲、ADL低下している方がいた（サービス利用なしの方）。保健師が訪問で気づき、連絡を下さってサービスにつなげ、家族も対応し、今は元気に過ごされている

